

田辺かずき 県政報告

古賀発！ただいま
県政刷新中！

～第16号～
2014年5月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■ 予算議会の詳報

保健師の活動推進を知事に提起 中小企業支援、農業振興も

福岡県議会の2月定例会（2月26日～3月28日）が開催されました。私は就任以来、連続12回目となる本会議・一般質問で登壇し、2014年度当初予算を詳細に審議する予算特別委員会でも積極的に質問。地元・古賀市の皆さんからいただいた多くのご意見・ご

要望を踏まえ、小川洋知事らと県政課題を議論しました。

一般質問のテーマは「保健師の活動の推進」と「若手農業者に対する支援体制の充実・強化」。

さらに予算特別委員会では▽経営革新に取り組み中小企業・小規模事業者の支援▽地域防災力強化のための実効性ある備蓄の促進▽県立特別支援学校の整備計画とその検証▽子育て支援体制の強化▽警察における解剖のあり方（「新法解剖」の意義と実施状況）——をテーマとして提起しました。

実効性あるものにする」ことを強く意識し、これまで以上に「提案型」の質問を行いました。統計などから現状を詳らかにし、課題を解決するための今後の取り組みを促しました。

◇ ◇

古賀は春のイベントが満載。筵内区の「なの花祭り」は美しい黄色のじゅうたんが広がりました。都市近郊で自然に恵まれた古賀の魅力、農業、工業が息づくふるさととの強みを次世代に



予算特別委員会でも積極的に質問に立ち、さまざまなテーマで提案＝2014年3月

今回、全てのテーマで「2014年度の県政を

演じ、ふるさとの魅力を次世代につなぐ名曲「古賀んもんの宝」を歌わせた。



舞の里おやじバンドの皆さんと共演＝2014年3月23日

ほかにも市内各地で開かれた多くのイベントに参加させていただきました。開催に向けてご尽力いただいた皆様に深く感謝を申し上げます。

▼福岡県議会のホームページはこちら
<http://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>



田辺の政治活動を連日発信しています！

田辺かずき

で 検索

ブログ（政治活動日記）
公式ホームページ

facebook
Twitter

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
<http://www.tanabe-kazuki.jp/>
<http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
アカウント→ @tanabe_kazuki

裏面へつづきます▼

住み慣れた地域で安心できる「暮らし」を

2月議会

子どもの教育機会の保障も要請

福岡県議会2月定例会。連続12回目となる一般質問で「保健師の活動の推進」を提起した背景には、高齢社会が現実となる中、地域における医療、介護、健康づくりなどにとって保健師の皆さんの役割が一層重要になっていくとの認識がありま



保健師の活動の推進を求めた本会議・一般質問＝2014年3月10日

医療や介護などの地域資源を「つなぐ」保健師の重要

健康寿命の延伸を目指した生活習慣病の発症や重症化の予防、特定健診・特定保健指導の展開、母子保健、児童福祉、精神障がい、難病、新型インフルエンザをはじめとする感染症、DV・虐待、生活困窮者への対応……。地域における保健・福祉サービスの課題は枚挙にいとまがありません。加えて、住み慣れた地域で適切な医療、介護サービスが受けられる社会を実現するための「地域包括ケアシステム」の構築も目前に迫った極めて重要な課題です。

こうした中、地域の中で多様な課題に向き合い、医療や介護などの地域資源を「つなぐ」役割を担ってきた保健師の役割は重要性を増しています。私は県内の保健師の方々との意見交換を踏まえ、保健師の配置の不足、多様性・専門性を増す社会に対応するための取り組み強化を提起しました。

知事は保健師の活動意義について、「**今後は地域包括**

ケアシステムの構築に向け、ますます医療・介護の連携、介護予防の取り組みなどを進めていくことが必要になる。保健師の皆さんの専門的な知識や技術をより一層発揮していただくことが重要になる」と述べ、認識を共有。資質向上につながる現任教育の強化について、「14年度は県が実施する研修に市町村の保健師さんも参加をしていただき、新しい課題に対応できる能力を高めていく」との方針を示しました。

そのうえで、本県がビジョンとして掲げる「生涯を通して健康で過ごせる社会」「高齢者が安心して生活する社会」を実現していくため、県と市町村が一体となった取り組みを推進することを表明。「市町村の幹部を対象として開催している研修で、保健師の方々の役割と活動の重要性について一層理解してもらい、引き続き、現任教育や技術的助言により、市町村の保健師を支援する」と約束しました。

経営革新に取り組む中小企業・小規模事業者の支援

福岡県の雇用の8割を担う中小企業・小規模事業者の支援は重要です。予算特別委員会では、中小企業の皆さんが自らの経営環境を見つめ直し、新たな事業展開に乗り出すための「経営革新」をテーマに質問・提案しました。商工会などの経営指導員の方々の努力もあり、福岡県は全国2位の計画承認件数（累計）を誇ります。今後、県として制度をさらに実効性あるものとするよう、フォローアップ体制の充実を求め、県も応じました。

地域防災力強化のための実効性ある備蓄の促進

14年度にスタートする県の備蓄基本計画に実効性を持たせることを目指し、具体策を質しました。市町村における備蓄が思った以上に進んでいない実態も明らかになりました。行政の公助、帰宅困難者対策としての事業所による共助の体制づくりはもちろん、私たち住民一人一人が主体的に家庭での備蓄に取り組まなければいけません。



県立特別支援学校の整備計画とその検証

「すべての子どもに教育の機会を確実に保障すべき」との観点から、予算特別委員会で質問。県立特別支援学校の整備計画で県教委による児童生徒数の見通しの甘さにより、推計と実数に大きな差が生じている実態を明らかにしました。このことにより、通学区域が「朝令暮改」に変わっていること、通学バスの利用が困難になる可能性が生じていることを指摘。福岡都市圏の古賀や太宰府の特別支援学校に通う子どもたちや保護者に強い不安を抱かせてしまっている現状について、県教委としてこれを払しょくするため、保護者に新たな負担が生じないように責任を持って対応することを強く求めました。教育長は学校への財政的支援も約束しました。

＜田辺かずきプロフィール＞

- 1980年5月16日生まれ
- 1987年／暁の星幼稚園 卒園
- 1993年／花鶴小学校 卒業
第2回古賀町少年の船に参加
- 1996年／古賀中学校 卒業
- 1999年／福岡県立福岡高校 卒業
- 2003年／慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
毎日新聞社 入社／福井支局 配属
原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
- 2006年／大阪本社社会部 配属
橋下徹・大阪府知事（当時）、大阪府警、甲子園、福祉問題、地域活性化、国際紛争などに取り組む
- 2011年／福岡県議会議員 初当選
厚生労働環境委員会（～13年）
国際交流推進対策調査特別委員会（～13年）
- 【現在の所属】新社会推進商工委員会、防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会、全国青年都道府県議会議員の会、民主党青年委員会
- 【家族】会社員の妻、7歳の長男、3歳の長女



“田辺かずき事務所からのお知らせ”

◇対話集会を開催

私の県議会活動は地元の皆さんの「声」があってこそ。市内全域の公民館で対話集会を開催し続けており、ご連絡いただければサークル活動などの地域の皆さんの集まりなどにも足を運び、県政報告と意見交換をさせていただきますので、事務所(092-692-8510)まで。



◇県政報告書の発送

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの県政報告書(1～2カ月に1回のペースで発行)で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただきますので、県政活動の意義と詳細を記していますので、事務所(092-692-8510)までご連絡ください。